

社会福祉事業

- 法人全体としては、4月1日から障害者自立支援法から障害者総合支援法へ変わったことに伴う対応をしました。まずは、福岡県の指導に従い各運営規程の文言の修正を行いました。次に役員の中途での改選を6月に行いました。多年に渡ってご尽力いただいた林種美監事をご病気により退任され、元評議員の塩川裕則氏が就任されました。10月には、福岡県と糸島市の指導監査が行われ、その時の指導に沿って、12月には『福岡愛育福祉会法人内情報ネットワーク事業に係るコンピュータ及び業務システム等の借入業者の選定』について入札を行いました。また、1月には糸島市へ指定特定相談支援事業の申請を具体的に取り組み、平成26年4月1日付けで新規事業所を開設することが出来ました。
- 玄海第一育生園では、前年に比べ1名利用者を増員し経営に取り組みました。職員配置については非常勤職員3名をフルタイム勤務への変更や7月には事務員を1名増員し、業務の負担を軽減しました。設備整備面では、厨房及びトイレ手洗い用器具、事務所内の書庫入れ替え等の館内整備を行い、食品表示が柔軟に変更できるようにラベラー機を購入しました。また、将来に備えて、備品等購入積立を180万円行いました。就労支援関係では、今年度も年間を通じて主力のかりんとうと季節に応じた限定商品の販売やパン・ラスクの製造を少しずつ手がけて販売できるようになりました。工賃向上のため販路開拓員1名を業務委託しました。そのおかげで、現在は県下200店舗近い取引先が増え、前年実績を上回る収入を得ることが出来ました。月額平均工賃は16,505円になりました。
- 玄海学園は、開所して20年を経過しました。利用者の方々の高齢化が進行しています。移動や移乗等の身体の介助の他、感染症への対策も重要になってきました。そこで、感染症の流行を防ぐために施設内研修を行い、予防への意識を高めました。更にも手洗いの励行、マスクの着用、感染症予防用品の使用等を徹底した結果利用者の罹患者は発生しませんでした。設備面では、節電対策として館内の共同使用をする部分（廊下や食堂等）の照明をLED化しました。その他、消防署からの指導を受け安全対策として「火気保管庫」を整備し、介護が必要な人のために福祉車両を積立金で1台整備し、軽の福祉車両1台を保護者会から寄贈を受けました。また、将来に備えて、人件費積立を300万円、修繕費積立を500万円、備品等購入積立を200万円の合計1,000万円行いました。
- 井田原ホームでは、平成25年度の利用者は、昨年度と同じく男性2名女性3名の計5名が利用されました。また、運営の体制も管理者1名、世話人3名（交代勤務）生活支援員2名、宿直者（業務委託）も変えずに実施しました。利用者のホームでの様子としては、ウォーキングや敷地内の草取り・買い物等個々のニーズに合わせた活動に取り組みられ、その支援を行っています。地域との関係では、隣接している在宅型有料老人ホームとの交流は継続して行い、1名の利用者の実習については、継続して行っています。

公益事業

収益事業